

ChatGPT に聞いてみた　　台湾有事に日本

台湾有事に日本が巻き込まれた場合の自衛隊のシナリオ

ChatGPT:

台湾有事が発生した場合、日本がどのように巻き込まれるか、そして自衛隊がどのように行動するかについては、現実に即して複数のシナリオが想定されています。これは日本の安全保障にとって極めて重大なテーマであり、政治・法律・軍事・国民生活すべてに影響を与えるものです。

## TW【前提】台湾有事とは？

台湾有事とは、中国が武力によって台湾を併合しようとする状況、またはそれに関連して台湾周辺で軍事衝突が起きる事態を指します。

## JP【日本が巻き込まれる主な理由】

1. 地理的に近い(与那国島～台湾間は約 110km)
2. 米軍が日本国内の基地を使うため(特に沖縄・横田・佐世保など)
3. 経済的・政治的影響(シーレーン・半導体など)
4. 日米同盟による協力義務

## 🛡【自衛隊が関与する可能性のある 4 つのシナリオ】

### ▼ シナリオ 1: 台湾封鎖作戦による南西諸島周辺の緊張

- ・ 中国が台湾を包囲し、日本の与那国島・石垣島・宮古島の空域・海域を封鎖または通過。
- ・ 自衛隊は領空・領海侵犯に対して警戒監視・スクランブル対応。
- ・ 日米の偵察活動が活発化。

### ◆リスク:

- ・ 日本の EEZ や領空に中国ミサイルが誤射・威嚇発射。
- ・ 輸送・通信への影響(物流の一時停止など)

### ▼ シナリオ 2: 米軍への後方支援による巻き込み

- ・ 米軍が台湾支援を開始し、日本の基地(嘉手納、佐世保、横須賀など)を使用。

- ・ 自衛隊は「重要影響事態法」に基づき燃料補給・輸送・整備などの後方支援を実施。

◆リスク：

- ・ 日本の基地が「中国の攻撃対象」になる（基地攻撃論争）。
- ・ サイバー攻撃や経済制裁が対日にも及ぶ。

▼ シナリオ 3：先島諸島（与那国・宮古）での局地衝突

- ・ 中国軍や武装集団が日本の離島に上陸・威嚇行為。
- ・ 自衛隊は「武力攻撃事態法」に基づき、防衛出動を発令。

◆内容：

- ・ 陸自・空自・海自による島嶼防衛戦
- ・ 一時的な航空・海上封鎖
- ・ 住民避難・国民保護計画の発動

◆リスク：

- ・ 短期的な局地戦が全面戦争に拡大する可能性
- ・ 自衛隊の兵站が長期戦に耐えられない

▼ シナリオ 4：本土へのミサイル攻撃・サイバー攻撃

- ・ 中国が「日本が米国の戦争協力国」とみなし、日本の通信網、政府機関、軍事施設へのサイバー攻撃・ミサイル攻撃を実施。

◆可能な対象：

- ・ 東京、大阪などの大都市
- ・ 横須賀、厚木、三沢などの米軍・自衛隊基地
- ・ 電力・通信インフラ

◆自衛隊対応：

- ・ イージス艦・PAC-3での迎撃
- ・ サイバー防衛部隊の稼働
- ・ 非常事態宣言、国民保護法に基づく避難誘導

【法的ステップ：自衛隊の行動は段階的に変わる】

1. **平時**: 警戒監視・情報収集(防衛出動できない)
2. **重要影響事態**: 後方支援可能(武力行使はできない)
3. **武力攻撃事態／存立危機事態**: 防衛出動・武力行使可能(集団的自衛権)
4. **全面戦争状態**: 総力戦体制(国会承認が必要)

## 【備えの課題】

項目	現状	課題
弾薬・燃料備蓄	数日～1週間分とされる	継戦能力に疑問あり
民間避難体制	離島は計画あるが都市部は不十分	国民保護計画の整備が急務
日米の共同作戦体制	フレームはあるが詳細な実動訓練は限られる	指揮系統の明確化が必要
サイバー防衛	一部強化中	民間インフラとの連携が不十分

## 【結論】

台湾有事に日本が巻き込まれる可能性は非常に高く、自衛隊は段階的に動員されることが想定されます。ただし、

- 実戦経験がない
- 装備・人員・予算に限界がある
- 法的制約が多い

という制限の中で、日本が「台湾有事＝対日本危機」と認識して早期に備えるかどうかが、今後の安全保障のカギになります。